

## スッカン沢山行報告

【山行日】2024年 2月 4日(日) 晴れ  
【集 合】栃木市運動公園P AM 7:00  
【費 用】マイカー1台 : 1,400円  
【メンバー】CL:鈴木、 SL:廣瀬  
青柳、飯野、小林、福島、藤原

【コースタイム】栃木市運動公園 P7:00=山の  
駅「たかはら」P8:10/8:25~雷霆の滝 9:20/9:30  
~咆哮霹靂の滝 9:50/10:00~スッカン橋 10:15  
~雄飛滝展望台 10:30/10:40~雷霆の滝  
11:30/11:40~山の駅「たかはら」12:30/12:45=  
ともなりそば処信生庵 13:15/13:45=上河内 SA14:00/14:15=栃木市運動公園 P14:40



山行アンケートでスッカン沢のリクエストがあり、久しぶりに計画した。ネットで氷瀑の状況を確認すると、今年はあまり報告がされてなく不安を抱えて出発した。東北道を北進し矢板ICで降り、道の駅「やいた」に寄ってトイレを済ませる。ここからは県道30号線を北に向かい、泉の信号で左折し県道56号線を走る。いつもは山道に入ると雪が出てくるが、今年は道路に雪がまったく無く山の駅「たかはら」の駐車場に着く。駐車場にもほとんど雪は無く、スタッドレスタイヤでなくても問題なく走れる。出発の準備を整え、ストレッチを行って出発する。登山口からゆるやかに下って行くが、雪は少ないがトレースはしっかり付いている。アイゼンは付けずツボ足で下って行き、傾斜がきつくなる手前でアイゼンを付ける。傾斜がある下りはアイゼンを付けると安心感があり、皆さんの歩きも軽快になる。桜沢に沿って下るようになり、綺麗な沢を見ながら下ると雷霆の滝に着く。雷霆の滝は例年は凍っているが、今年は暖冬のせいで凍らず勢いよく水が流れ落ちていた。小休止して衣服調整し、滝を見ながら果物や菓子をいただく。ここからも沢沿いに歩き、少し先で雷霆の吊り橋を渡って左岸に出る。

この先から沢を離れて急坂を登り、登り切ると前方に奥塩原の山が顔を見せてくれる。ここから下るとスッカン沢への分岐に出て、ここは直進して咆哮霹靂の滝に向かって降りて行く。下り切った所がスッカン沢と桜沢の合流地点で、咆哮霹靂の滝は右の桜沢に架かっている滝である。こちら例年は凍っていて滝の途中まで登れるが、今年は水が流れ落ちて氷瀑は見られなかった。



休憩を取って菓子をいただき、記念写真を撮ったらスツカン沢への分岐まで戻る。スツカン沢入口にはロープが張られ、「崩落の為立ち入り禁止」の札があるが自己責任で入らせてもらう。斜面をトラ



バース気味に下って行き、壊れた木製の階段を下って行くと最初の氷瀑が現れる。やはり暖冬の影響で半分以上融けており、いつものシャンドリアを重ねたような氷の芸術は見られなかった。それでも初めて見る皆さんは「凄い、綺麗！！」と喜んでくれありがたかった。岩に張り付く氷の芸術を見ながら下り、スツカン橋を渡って対岸に出る。対岸を登り沢に沿って10分くらい歩き、最終目的地の雄飛滝展望台に着く。

大休止し雄飛滝や対岸の岩壁に付く氷瀑群を見

ながらおやつを美味しくいただいた。記念写真を撮ったら雄飛滝を後にし、往路を戻って下山開始

する。スツカン橋を渡り返して、もう一度氷瀑群を鑑賞し雷霆の滝まで戻る。最後の休憩を取り、水分を補給したら駐車場に向かう。ここからは長い登りとなり、疲れた足には堪える登りだ。50分程登って駐車場に戻り、アイゼンやスパッツを外して靴を履き替える。山の駅「たかはら」で昼食を食べる予定だったが、ご飯が2人分しか無いと言われ諦める。こんなことあるかと、事前に調べてきた矢板市の蕎麦屋に向かう。道の駅「やいた」の先を川崎城跡へ向かい、橋を渡ってすぐ右側にある「ともな



りそば処信生庵」に着く。広い駐車場には車が2台しかないなので、終わってしまったかと店に入って聞いてもらう。OK との返事に皆さん笑顔で店に入る。ご飯とのセットメニューは終了との事で、天ザル蕎麦をオーダーしたがとても美味しかった。皆さんも大満足の様子で、山の駅「たかはら」でうどんやそばを食べなくて良かったと思った。昼食が済んだら帰路に着き、途中上河内 SA 寄って買い物し、予定より早く栃木市運動公園へ帰着した。